



安全な通学を見守ってくださっている地域の皆様、保護者の皆様、いつもありがとうございます



先週は記録的な大雨が降りました。社地区にお住まいの皆様の中にも今回の大雨により、家屋や田畑等が被害に遭われた方もあったのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

警報がなかなか解除されない状況の中、降り続く雨による通学路の冠水が数カ所で発生しました。児童の安全な登下校が難しいという判断から、臨時休校になった日もありました。集団下校や「引き渡し」を実施した日もありました。保護者の皆様には子ども達の送迎など、大変お世話になりました。先週を無事に乗り切ることができたのは、皆様のご理解ご協力のおかげです。ありがとうございました。

さて、今週12日より「夏の交通安全県民運動」の期間に入りました。21日までの10日間です。

先日、千葉県内の市道において下校中の児童が死傷する大変痛ましい事故が発生しましたが、今もなお、あの悲しい事故が頭から離れません。そのことから、このたびの運動期間は、児童の交通安全意識を高める大切な機会だと捉え、登校班の一行歩行や道路の横断の仕方など、春確認したことができていたかを今一度見つめ直し、不十分な点は改善したいと考えています。



安全ボランティアの田中凌さんです。

今朝も、国府の信号のない横断歩道で、小中学生が安全に横断できるように誘導してくださっていました。この活動を続けられて10年になられるそうです。

社の子ども達のために、暑い日も雨の日も雪の日も、毎日頑張ってくくださっている田中さん。今年80歳になられました。頭が下がります。感謝しかありません。

※ 今朝、車で校区内を回ってみました。各所で心温まる光景を目にしました。交差点で立ち番をしてくださっている方、横断歩道を渡るときに誘導してくださっている方、ご自宅の前の歩道に出て見守りしてくださっている方、登校班と一緒に歩いてくださっている方、……。子ども達の安全な登校を支えてくださっている地域の皆様や保護者の皆様が何名もおられました。本当にありがたいことです。子ども達もわれわれ職員も、こうして力を貸してくださっている皆様への感謝の気持ちを忘れてはいけなとあらためて感じさせていただいた朝のひとつときでした。

熱中症が心配される時期の 登下校時のマスク着用について

感染力が強いといわれているデルタ株による新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大しつつあります。本校も、今まで行ってきた感染予防対策（マスクの着用、換気、手洗い、消毒など）を、気を緩めずに継続していきます。

同時に、熱中症に注意すべき時期でもあります。昨日、気象庁が中国地方の梅雨明けを発表しました。本格的な暑さがいよいよやってきます。

県教育委員会が今月12日に更新した啓発チラシを裏面に印刷いたしました。その中に「運動時や、息苦しさ・体調不良を感じた際は適宜マスクを外し、こまめな水分補給や休憩をとるなど熱中症対策を優先」と記されています。したがって、学校生活では多くの場面でマスク着用を基本としながらも、体育の授業

や休憩時間に外で遊ぶときなどはマスクを外すようにしています。また、この時期の登下校中も熱中症の危険性があります。子ども達には「登下校中はマスクを着けても外してもよい。マスクを外している時は、人との距離をとり、おしゃべりをしないように気をつけよう。」と指導しています。保護者の皆様もお知りおきください。今後も、感染症や熱中症の予防にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

《保健室前廊下の壁面の掲示物です。熱中症予防のポイントが分かりやすく示されています》

部落解放月間 7/8/19

鳥取県が同和問題（部落差別）の早期解決を目指して昭和45年に制定したのがこの部落解放月間です。本校では特に大きな取り組みは実施しませんが、まわりの仲間を思いやる気持ちをあらためて大事にさせたい機会だと考えています。胸に啓発ワッパンをつけて生活しています。

